

D-TIMES

[dementia times] 2024/5

No.25

認知症ケア委員会

こんにちは！認知症ケア委員会の榎元です。前回、D-TIMES No.21の中で、認知症状のある、実の母親(ケアセンター入所中)の事を取り上げました。最近も関わりのある職員たちと報連相を含めた母の様子を聞く機会があり、また改めて認知症の日常に触れ、D-TIMESにまとめてみようと思いました。

<母の最近の作品たち>



入所した時の母の手帳にあった文章は自分がここに居て家族がその事を知っているのか…心配かけてないか…留守にしている家のことは大丈夫なのか等の不安材料が沢山あって、帰宅願望も強く車椅子であちらこちらへ向かい、落ち着かない姿を見かける事が多くあり、娘としても他職員に介護させてしまっているうしろめたさのような物を感じていました。でも最近はりハビリで1階へ歩行に降りてくる母に声掛けすると笑顔を見せてくれ、あなたも仕事頑張ってるね！と笑顔がより明るくなっている日々に安心をいただいています。

【リハビリ科 窪さん】

リハビリでは身体機能の維持・向上による転倒リスク軽減を目的に、歩行訓練を中心に実施しています。認知機能低下により、帰宅願望が強くリハビリへの拒否がある事もありますが、現在では拒否なく意欲的にリハビリに取り組まれています。疎開の話やお子様の小さかった頃の話、旦那様との話など様々にお話しをして下さいます。リハビリとしては傾聴のみでは同じ話の繰り返しとなってしまうやすいため質問をするなど話を広げていくよう心掛けています。



【看護師 吉田さん】

日中車椅子自操にて居室、食堂、トイレへ適宜移動して過ごされています。時々外の景色を観ようと立ち上がられることがあります。車椅子のロックを掛けていないことがあるため転倒のリスクがあり、注意して観察しています。家人の面会希望やハンドバックの所在確認、娘さんがデイケアで働いている事などスタッフに尋ねることが多く、都度説明していますがすぐに忘れてしまい同じことについての質問を繰り返されるためノートを見てもらったりして対応しています。



多床

【介護福祉士 木村さん】

本人は毎日自主トレ（個別リハ）で室フロア内を職員付添での杖歩行を楽しんで行っています。いつも笑顔で「娘はいつも穏やかでね、ケンカしたことが無いのよ」仲がいいんですねと答えると「ありがとう」と言ってくれます。



【管理栄養士 小笠原係長】

食事はしっかり食べられています。（基本的に10/10摂取）咀嚼、嚥下の機能も保たれ、常食摂取も問題ありません。現在のお食事に満足していただいているようです。体重も少しずつ増加し標準内を保っています。

